

林座

相模人形芝居

長谷座



相模人形芝居 1体を3人で操る「三人遣い」と「鉄砲ざし」と呼ばれる操法が特徴。長谷・林座が継承し1980年に国の重要無形民俗文化財に指定

無料 相模人形芝居大会第50回記念展
人形とともに・相模人形芝居の50年

日時 3月5日まで 9～17時
場所 あつぎ郷土博物館

内容 人形や史料などの展示 あつぎ 元気Wave 2/1～CATVで放送

◆講演会
日時 2月18日 14～16時
内容 人形芝居の今後について専門家が講演

◆相模人形芝居・長谷座公演
日時 2月25日 14～16時
※◆は定員各回50人。各5日前までにあつぎ郷土博物館へ。抽選。

詳細はこちら

伝統を未来に

およそ300年前、淡路（兵庫県）から伝わったとされる人形芝居。市内では、長谷と林の2座が伝統をつないでいます。

あてやかな衣装をまとい静かなまなざしで向き合うのは、2座に伝わる三番叟（さんぼそう）人形です。三番叟は古来、縁起の良いものとして、五穀豊穡（ごこくほうじやく）や天下太平、子孫繁栄などを祈り、演じられてきました。

あつぎ郷土博物館では、三番叟人形をはじめ、県内5座に伝わる史料を集めた企画展を開催しています。郷土の芸能から、先人の思いや願いを感じてみてはいかがでしょうか。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

Zoom Up

事故なく安心して学校へ

通学路の安全対策が進む

市では、子どもの交通事故を減らすための対策を進めています。小学生の目線で撮影した映像や学校関係者、道路管理者などの視点で見つけた危険箇所、路面カラー化や防護柵の設置などを実施。事故なく登下校ができるよう、通学路の安全性を高めています。

2022年、市内では617件の交通事故が起き、6人が命を落としました。交通事故件数は減少傾向ですが、昨年は中学生以下の子ども36人が事故に巻き込まれました。

市では昨年、通学路の安全性向上を目指し、児童のランドセルに付けて通学路を撮影できる小型のカメラ（左下欄参照）を導入。子ども目線での点検を始めました。

通学路の現状を再検証

通学路は昨年度まで、保護者や先生



ウェアラブルカメラの映像を基に設置された防護柵（妻田小学校周辺）



歩道のグリーン化（清水小学校周辺）



交差点のカラー化（愛甲小学校前）

子どもの目線で確認 ウェアラブルカメラ



リュックサックの肩ひもや自転車などに装着できる軽量で小型なカメラ。手に持たずに撮影者の視点で撮影が可能。小学生に取り付けることで、大人では気づきにくい危険箇所の発見につなげている。

☎学務課 ☎225-2650

など、学校関係者からの要望を基に安全対策を講じてきました。今年度はさらに、子どもの低い目線で撮影・記録できるウェアラブルカメラを導入。6月から市内の23小学校の通学路を撮影しました。撮影した映像は、市職員や県土木事務所、厚木警察署で構成する通学路の安全対策協議会で共有し、危険箇所の発見につなげていきます。

点検の結果などを踏まえ、主に対策を講じたのは、歩道のない道路や信号機がない交差点です。通学路の安全性を高めるため、歩道の路側帯や、横断歩道などを強調する路面のカラー化を実施。車の運転者からの視認性を高め、歩行空間を認識させることで注意喚起します。

約200件の安全対策工事

他にも、歩行者の横断が多い横断歩

ワンストップで申し込みが完結

粗大ごみのインターネット受け付けが新しく

インターネット受け付けが新しくなり、24時間いつでも環境センターへの直接搬入と戸別収集の申し込みができるようになりました。



旧

- 直接搬入の予約は不可
- 戸別収集はインターネットで申し込み後に、市の担当者から連絡があり、収集日を決定

新

- 直接搬入、戸別収集ともにインターネットで日時を選んで申し込みが完結

詳細はこちら▶



■粗大ごみ

一辺の長さが50センチ以上の物（高さ・横幅・奥行の合計が300センチ以上のたんす・ベッド枠・ベッドマット・棚類・物置・ソファ・マッサージチェア・テーブルは特定粗大ごみ）

■料金

粗大ごみ 1点500円
特定粗大ごみ 1点1000円

■出し方

直接搬入 環境センターに直接持ち込み
戸別収集 ごみ収集車が自宅周辺に行き収集

☎環境事業課 ☎225-2790

死亡事故ゼロを目指して

市では他にも、交通事故の中で件数が多い自転車利用者の安全を守るために、全ての年代への自転車用ヘルメット購入費補助（下欄参照）や、交通安全教室の開催など、事故防止に取り組んでいます。

今後、歩道拡幅、老朽化などが進んでいる橋の架け替え工事に向けた調査を進めていきます。

安心して乗るために

自転車用ヘルメットの購入費を助成

転んだときの頭部の保護や、ダメージ軽減に役立つヘルメットの購入費用を助成します。

☎交通安全課 ☎225-2760

【対象】購入日に市内に住所がある方

【助成額】上限1000円（1人につき1個）

【申請】交通安全課や公民館などにある申請書と現住所が分かる運転免許証や学生証を持ち、3月31日までに協力店舗へ。



詳細はこちら

2月5日告示

厚木市長選挙

投票
日時2月12日
7～20時市長選挙
特設サイト

選挙管理委員会 ☎225-2490

投票できる人

2005年2月13日までに生まれ、選挙人名簿に登録されている方。

区分	投票の可否
市外から転入	2022年11月4日までに転入手続きをした方 可
市内で転居	23年1月17日までに転居手続きをした方 可 (新住所地)
	23年1月18日以降に転居手続きをした方 可 (旧住所地)
市外へ転出	23年2月12日までに市外に転出した方 否 ただし、2月6～12日に転出する方は投票できる場合あり

投票所

投票所入場券や市HPに記載。当日の投票は、指定された場所でお願ひします。

投票所入場券

投票所入場券は、2月6日までに世帯主へ郵送します。封筒内には、同世帯分(最多6人)が入っています。氏名を確認して、投票所へお持ちください。

期日前投票

投票日に用事などで投票所に行けない方は、期日前投票ができます。投票所入場券の裏面の期日前投票用請求書(兼宣誓書)に必要事項を書き、期日前投票所にお持ちください。投票時の混雑を緩和するためにも、積極的な利用をお願いします。

期間	時間	場所
2月	6～11日	8時30分～20時
		9～20時
	8日	市役所本庁舎※ 依知北公民館 荻野運動公園体育館 南毛利公民館 厚木シティプラザ
	9日	相川公民館
	10日	緑ヶ丘公民館 玉川公民館

※市役所・厚木中央公園の駐車場は、市役所開庁時間(8時30分～17時15分)は混雑が予想されます。

混雑状況の確認

投票所の混雑状況をインターネットで確認できます。過去の選挙の時間帯別の混雑傾向なども掲載します。



サイトはこちら



選挙公報

2月8日ごろの新聞(朝日・毎日・読売・産経・東京・日経・神奈川の朝刊)に折り込む他、2月7日から公民館などの公共施設、駅構内、郵便局、農協支所、スーパーマーケットなどで配布します。内容は市HPにも掲載。

不在者投票

選挙の当日、仕事や旅行で市外に滞在または、病気や出産で入院中などの場合は、次の方法で不在者投票ができます。

①市外滞在中の方

本人が、市選挙管理委員会へ投票用紙を請求し、交付を受けてから滞在地で投票してください。

②指定病院などに入院(入所)中の方

県選挙管理委員会が指定した病院などに入院(入所)中の方は、病院などで投票できます。詳しくは、各施設に確認してください。

郵便などでの不在者投票

次に該当する方は、自宅などで投票できます。

《対象》■事前に郵便等投票証明書の交付を受けている方

◆身体に重度の障害があり下表に該当する方

障害などの区分	障害の程度	
身体障害者手帳	両下肢・体幹・移動機能	1級または2級
	心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸	1級または3級
	免疫・肝臓	1～3級
戦傷病者手帳	両下肢・体幹	特別項症～第2項症
	心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓	特別項症～第3項症
介護保険被保険者証	要介護状態区分	要介護5

《手順》

①郵便等投票証明書の交付申請(◆のみ)

本人または代理の方が、身体障害者手帳、戦傷病者手帳または介護保険の被保険者証のいずれかを持ち、選挙管理委員会でも申請書を受け取り提出(来庁が難しい場合は要相談)。

②投票用紙を請求

1～3日で発行される郵便等投票証明書(即日発行不可)を添えて、2月8日(必着)までに選挙管理委員会に申請。

③郵便投票

自宅に郵送で届いた投票用紙に候補者名などを自署し、〒243-8511選挙管理委員会に郵送。

開票

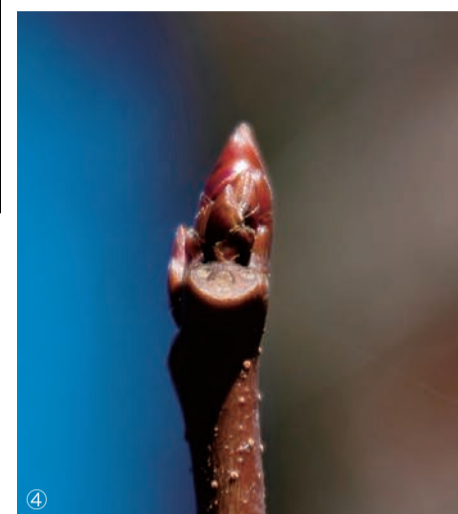
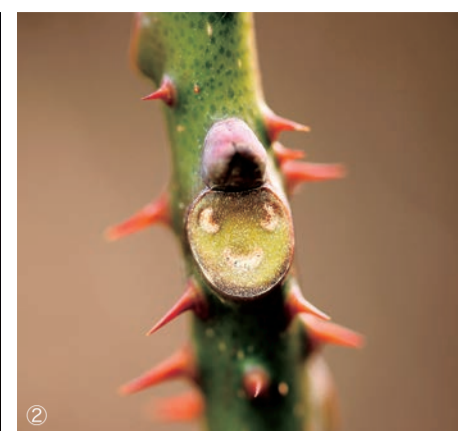
《日時》2月12日 20時50分～

《場所》荻野運動公園体育館

開票速報は市HPに掲載。



市HPはこちら

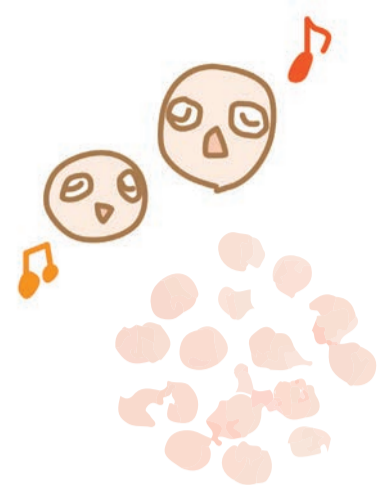


①クズ(荻野川の川べり)
②カラスザンショウ(県自然環境保全センター)
③ムクロジ(小鮎川沿い遊歩道)
④モミジバフウ(県自然環境保全センター)

じっと見てみよう

笑ってる? 歌ってる?

冬に葉が落ちると、葉から養分などを運んでいた管の断面が、人の顔のように見ることがあります。とても小さいので、注意して見てみましょう。

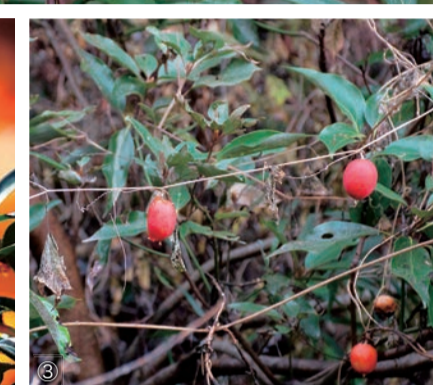
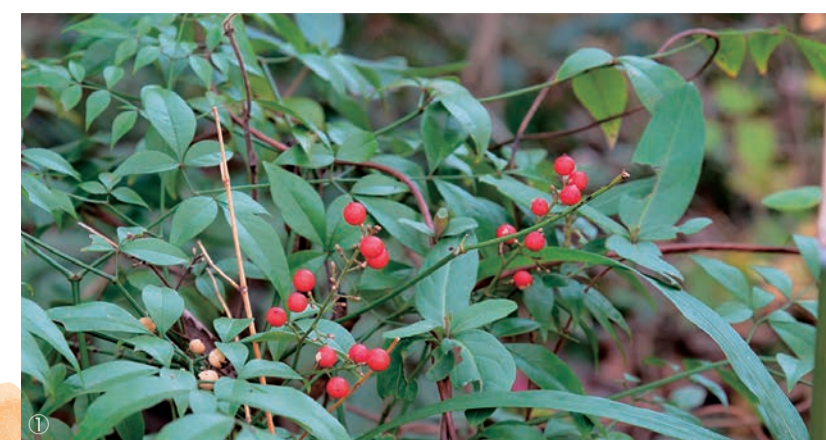


探してみよう

きれいな色の植物

茶色ばかりに見える冬の森ですが、きれいな色の植物も見つかります。

- ①ナンテン(県自然環境保全センター)
②サザンカ(飯山白山森林公園)
③カラスウリ④マンリョウ(あつぎこどもの森公園)



冬の自然と遊ぼう

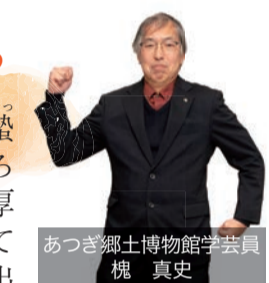
寒くても外には発見がいっぱい



一見枯れ木ばかりの冬でも、よく観察してみると、生き物や植物の面白い表情がたくさん見つけられます。家にこもりがちな季節ですが、身近な自然を味わってみませんか。

晴れた日には外へ出てみよう

暦では、3月6日ごろは啓蟄と言われ、虫が動き始めるころとされています。しかし、厚木の野山では、2月でも晴れて暖かい日であれば虫たちに出合えます。畑では、冬をさなぎで過ごしていたモンシロチョウが、勘違いで羽化し、ひらひらと飛んでいます。公園では、葉の重なった所で寒さに耐えていたムラサキシジミが、羽をいっぱい広げ、鮮やかな紫色を見せつけるかのよう



あつぎ郷土博物館学芸員 俣 真史

ように日光浴しています。僕のお勧めは、相模川河原の草原歩きです。生き残っていたトノサマバッタやヒナバッタが、ぴよんとはねる場面に出くわすと、冬を生き抜いた虫たちのけなげさに触れます。冬の暖かな日差しは、いろいろな生き物の目覚め、そして私たちとの出会いをプロデュースしてくれるのです。



トノサマバッタ(相模川三川合流点)

2月は彗星観察のチャンス

2022年3月に発見されたZTF彗星が接近中です。地球に接近する恐れのある小惑星などを探するため、夜空の隅々を撮

影している観測プロジェクトによって発見され、その名が付けられました。彗星とは、直径数km程度の巨大な氷の塊が太陽に接近し、噴き出したガスやちりが雲のように見える天体です。太陽系の仲間としてはごく小さな存在ですが、太陽系誕生や生命の起源を探る上で注目されています。

ZTF彗星は、2月2日に地球に最接近。双眼鏡があれば見える明るさになりそうです。探し出すことは、近くにある目立つ星を手掛かりにすることです。2月中旬には、明るい火星の近くに見えます。

夜が長く、空気が乾燥している冬は、天体観測にぴったり。ZTF彗星の観測は子ども科学館ホームページで解説しますので、ぜひ防寒をして、冬の夜空を眺めてみてください。



子ども科学館 菅原 賢

自然歳時記

ゴシュユ ミカン科



写真・文/吉田文雄

ゴシュユは、中国原産の落葉低木。日本では帰化植物。あまり聞き慣れない名前だが、薬用植物として江戸時代に渡来した。葉の落ちた跡にできる葉痕がユニークな顔に見える/県自然環境保全センターで見つけた。



ヒサカキの小粒の実を、メジロやジョウビタキたちが盛んについで食べている。この時期、花や実は少ないが、葉の落ちた跡にできる葉痕と冬芽が面白い。センダン、クズ、オニグルミ。笑顔や怒った顔など、見飽きない。

観察会の時、ふと見つけたかわい顔がゴシュユだった。目や鼻、

口に見えるのは維管束痕で、役目は葉や茎に水分や養分を送っていた管の断面の名残りだが、1本の枝の中にも喜怒哀楽の顔があり今の世相を表しているように見える。ゴシュユは、健胃や利尿作用の漢方として使われたらしい。何げなく見つけた木にも不思議が隠されている。

県自然環境保全センターのミニ観察会

第3日曜には、自然歳時記の吉田さん(みずきの会)と自然を学べる観察会を実施しています(講師は週変わり)。《日時》毎週日曜 13~15時 《費用》無料 ④当日直接会場へ。

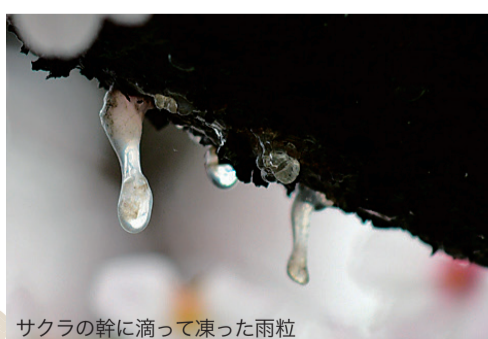
④県自然保護課 ☎248-6682

早起きしてみよう



冬ならではの自然現象

踏むとざくざく鳴る霜柱や、思わず割ってみたい氷など、冬しか見られない現象を見つけてみましょう。



サクラの幹に滴って凍った雨粒

実験してみよう



木の実が洗剤に?

冬に実を落とす植物を使った実験を紹介します。

ムクロジの実で実験

古くから洗剤や羽根突きの羽の材料として使われてきたムクロジ。市内では、県自然環境保全センターなどにあります。



①ムクロジの実をペットボトルに入れ、水を注ぐ。実を割って、黒い種子を取り除くと、泡立ちやすくなる。



②ペットボトルのふたを閉め、よく振る。



③泡立ったら、何が出来るか考えてみよう。
・手を洗ったらきれいになる?
・泡立てネットを使ったらどうなる?
・一晩漬けておいたらもっと泡立つ?
・シャボン玉はできる?

あつぎ 元気Wave 2/1~CATVで放送

神奈川工科大学 厚木市子ども科学館 YouTubeチャンネル・公式Twitter

《YouTube》科学や自然を使った実験、工作などを紹介しています。

《Twitter》プラネタリウムの情報などをリアルタイムでお届けしています。

④子ども科学館 ☎221-4152

ミニ工作教室「アヒルコップ」

《日時》3月12日 ①13時40分~②14時30分~(各回30分) 《場所》子ども科学館 《内容》ストローと紙コップで音の鳴るおもちゃを作る 《定員》24人 《費用》無料 ④当日9時から電話で受け付け。他にも、太陽観察会(2月5日)、ミニ工作教室「コロリン」(2月12日)、土曜科学実験室「カイロをつくろう」(2月18日)などを開催。詳しくは広報あつぎ1月15日号や市HPでお知らせ。

④子ども科学館 ☎221-4152

皇大神社のムクロジ

ムクロジの中でも大きく、樹齢100年以上の古木であることから、価値が高いとして2022年に市の天然記念物に指定されました。ムクロジは別名せつげんの木とも呼ばれ、果皮は洗剤として、黒い種子は数珠や羽根突きの羽根の玉としても使われてきました。漢字では「無患子」と書き、子どもの無病息災を願って古くから神社や寺院に植えられてきました。

④文化財保護課 ☎225-2509



命を守る決意を新たに 3年ぶりに屋外で消防出初め式を実施



式を締めくくる消防団の一斉放水

消防隊員らの士気と市民の皆さんの防火意識を高めるため、荻野運動公園で消防出初め式を開催しました。式は、式典・表彰と消防演技の2部構成。消防演技は3年ぶりに屋外で実施され、消防職員や団員などが、消防車両の分列行進やはしご乗り、一斉放水などを披露し、多くの観客が見入っていました。

親子で来ていた小寺裕一さん(35・林)は「出初め式に来たのは初めて。地域に貢献する消防団を知ることができ、息子の悠斗さん(5)は「消防車がかっこよかった。大きくなったら消防士になりたい」と喜んでいました。

「拓」可能性は無限大！ はたちのつどいを開催

20歳の節目を祝う「はたちのつどい」が文化会館で開催され、着物やスーツに身を包んだ若者たちは、晴れやかな表情で同級生との再会を喜んでいました。式典は、20歳を迎える若者でつくる実行委員会が昨年7月から企画。感染拡大防止のため、昨年に続き中学校区別に3回に分けて実施しました。



2320人が20歳の節目を迎えた

委員長の上山優奈さん(20・三田)は「今年のテーマにある『拓』は、新たな一歩を踏み出すときに前向きな言葉として使われている。20歳の節目を迎えた今、大人としての自覚と責任を持ち、共に未来へ進んでいきましょう」とあいさつしました。



長年にわたり造園業に尽力

「現代の名工」に選ばれた職人が市長を表敬訪問

小林市長は「これからも職人の励みとなるよう仕事を続けていただきたい」と激励。神崎さんは「20代前半でこの仕事に就き、さまざまな庭を手掛け、心から楽しい職業だと感じている。今後もお客さんに喜んでいただける庭を造っていききたい」と力を込めました。



「名誉ある賞を受賞できてうれしい」と笑顔で話す神崎さん

卓越した技能でその道の第一人者として活躍する職人らを表彰する「現代の名工」に、温水在住の神崎勝彦さん(77)が選ばれ、市長に喜びを報告しました。神崎さんは、日本古来の伝統的技法を生かした作庭を得意とし、50年以上にわたり若手造園技術者の人材育成と技能・知識の承継に尽力してきました。

平和への思いを込めて

森の里朝市でウクライナ支援の募金活動を実施

若宮公園で開かれている森の里朝市で、ウクライナ支援の募金活動が実施されました。募金は、森の里朝市運営委員会の発案で始まり、今回で3回目。参加者たちは「ウクライナ人道危機支援金」と書かれた箱を持ち、買い物客らに募金を呼び掛けました。参加したウクライナ避難民のミコラエヌコさん(34)は「募金に協力してくれる人がたくさんいて、とても良かった。ウクライナでは電気が止まっている場所が多くある。その復旧などに使われてほしい」と話しました。



募金を呼び掛けるニキチェンコさんとミコラエヌコさん(左)

第16回 みんなで! SDGs

SDGs(持続可能な開発目標)の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標11 住み続けられるまちづくりを
世界各地で、避難や移住が必要となる大きな自然災害が増えています。誰もが安全に暮らし続けられる、災害に強いまちをつくっていきましょう。



できる取り組みは？

防災対策をする

災害に強いまちをつくるには、そこに住む人が災害の恐ろしさを理解し、防災意識を高めることが重要です。災害はいつ発生するか分かりません。飲用水や食料品を備蓄するなど、いざという時に備えましょう。



地域の活動に参加する

地域活動への参加も個人でできる取り組みの一つです。児童の登下校を見守るボランティアや清掃活動、まちを活性化するための祭りなどのコミュニティー活動に参加し、誰もが安心して暮らせるまちにしましょう。

企画政策課 ☎225-2450

「過ぎたるは猶、及ばざるが如し」。古代中国の思想家・孔子の言葉で、「やり過ぎることは、やり足りないことと同じように良くない」という意味です。昨年12月6日の市議会第6回会議。一般質問の答弁で、4期16年にわたる市政運営に終止符を打つ決意を表明しました。

厚木市を「日本一のまち」にするという私の夢は、新しいリーダーに託します。市長選挙は2月12日。このまちの将来のため、皆さん一人一人が「自分事」として一票を投じることを期待しています。



最後の消防出初め式であいさつ

例も制定しましたが、仕事を進めるうちにまちづくりの甘くない現実に向かい、「総仕上げ」に向けた強い思いで、条例の努力規定を超えた4年間を歩んできました。新型コロナウイルスに翻弄され、やりたいことが全てできず、たとは言い切れない日々でしたが、まちづくりに終わりはありません。持続可能なまちづくりに向けて確かな礎を築けたと確信できている今、新たなリーダーにバトンを渡すべきと判断しました。

タウンガイド

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

あつぎのしゃしん。



「はたちのつどい」

#1月9日撮影
 #晴れ姿
 #新成人
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



2月19日
まで

あゆコロちゃん GENKIポイント

健診や予防接種、ウォーキングなどでポイントをためて応募すると抽選で特典が当たります。

《対象》市内在住在勤在学の方
 《特典》スマートバンドや商品券など

☑公民館や保健福祉センターなどにあるポイントカードを応募箱に投函または郵送で2月19日(消印有効)までに〒243-8511健康長寿推進課☎225-2174へ。市HPからも申請可。



詳細は市HPに掲載

体験など《対象》市内や近隣市にある企業や学校など。書類選考あり。いずれも厚木中央公園。☑公園緑地課や公民館、市HPにある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで2月27日(必着)までに〒243-8511公園緑地課☎225-2412・FAX225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。



《対象》市内在住の18歳以上5000人(無作為抽出)《内容》安心・安全、福祉、子育て、教育、まちづくり、環境などのアンケート調査。結果は広報あつぎや市HPなどに掲載。☎企画政策課☎225-2455。

表彰

(50音順・敬称略)

一般表彰(公民館地区館長)

井上慎一、大澤雄次、二見政宏、山口光男
 ☎秘書課☎225-2009

感染予防の徹底を

感染の不安がある方、診療ができる医療機関の案内などは県の専用ダイヤル☎0570-056-774(24時間対応)へ。

☎健康長寿推進課☎225-2174



新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

あゆコロちゃん 誕生日セレモニー

2月4日、10~16時。アミューあつぎ。2月1日が誕生日の「あゆコロちゃん」を祝うステージや写真撮影、子ども向けの縁日などを開催。無料。☑当日直接会場へ。詳細は市HPに掲載。☎観光振興課☎225-2820。

斎場施設見学会

2月20日、10時30分~12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☑2月1~19日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

渡辺華山講座

2月26日、14~16時。あつぎ郷土博物館。江戸時代の画家・渡辺華山の舞台を手掛けた演出家の横内謙介氏が魅力を紹介。定員50人。無料。☑直接、電話またはハガキに講座名、〒住所、氏名、電話番号、参加人数を書き、2月18日(必着)までに〒243-0206下川入1366-4あつぎ郷土博物館☎225-2515へ。抽選。📍

子育てアドバイザー講習会

3月①1日、9時45分~17時②2日、13時30分~17時③7日、9~12時(全3回)。あつぎ市民交流プラザ他。市内在住で地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上5人)。2月14日までに要予約。先着順。別途、保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。☑

2月17日までに子育て支援センター☎225-2922へ。先着順。📍

応急手当普通救命講習会

3月4日、9~12時。消防本部。応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上15人。無料。☑2月1~8日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができ、講習会を受講できる方《講習会》3月①1日、9時45分~17時②2日、13時30分~17時③7日、9~12時(全3回)。あつぎ市民交流プラザ他。託児あり(1歳以上5人)。2月14日までに要予約。先着順。☑子育て支援センターにある申込書と証明写真2枚を、2月17日までに直接、ファミリー・サポート・センター☎225-2933へ。

緑のまつりステージ 出演団体・出店者を募集

■「花と緑のステージ」出演団体 《日時》5月13・14日、10時30分~16時(1団体15分以内)《内容》ダンス、楽器演奏など《対象》3人以上の団体。抽選。

■出店者 《日時》5月13・14日、10~16時《内容》緑化や環境に関する展示、即売、

文化財保護審議会委員を募集

文化財の指定や解除、保存・活用を調査する委員を募集します。《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の職員、議員でない⑤書跡・典籍関係の専門的な知識がある一の方を満了す方1人《任期》6月~(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☑文化財保護課や市HPにある申込書を、郵送、ファクス、Eメールで3月3日(必着)までに〒243-8511文化財保護課☎225-2509・FAX223-0086・✉8650@city.atsugi.kanagawa.jpへ。面接あり。

本厚木駅連絡所の臨時休業

2月20・21日は駅ビル休館日のため、連絡所業務や観光案内所を休業します。☎市民課☎225-2110。

市民実感度調査に協力を

市政運営の資料とするため、市のまちづくりの取り組みへの実感度を調査します。対象者には1月下旬に調査票を郵送しています。

みんなの声で つくるまち

《パブリックコメント》
 ■住生活基本計画改定
 《閲覧期間》2月1日~3月3日
 ☎住宅課☎225-2330
 ◆中依知・王子・緑ヶ丘児童館再整備基本方針
 《閲覧期間》2月1日~3月3日
 ☎青少年課☎225-2581
 ■自転車活用推進計画
 《閲覧期間》2月6日~3月8日
 ☎都市計画課☎225-2357
 いずれも《閲覧場所》各課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市HP(◆は中依知・王子・緑ヶ丘児童館、子育て支援センターもあり)《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

全国瞬時警報システム(J-アラート) 全国一斉情報伝達試験

J-アラートの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。

日時 2月15日 11時~

※気象状況により中止の場合あり。

☎危機管理課☎225-2190

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆子どもたちの素直で真っすぐな瞳と文字がすがすがしかった/40代女性 ◆厚木から羽ばたくすてきな人たちの思いや行動がよく分かった。誇らしく今後も活躍を期待したい/70代以上男性 ◆梅澤アナウンサーが市内出身とは知らなかった。対談場所の古民家岸邸は数年前にイベントで行き懐かしく感じた/40代女性 ◆2023年が希望のある良い年になってほしい/60代男性

編集後記

吉田さんに解説してもらいながら自然を撮影したのですが、やはり知識があると何倍も面白い!「似ている赤い実だけど、さっきのはナンテン、これはマンリョウ」「このコケ、文字みたいに見えるでしょ。モジゴケって言うんだよ」などなど…当たり前なのですが、どんな物にも名前があるんだと改めて気づき、興味深い時間でした。皆さんもぜひ、図鑑を片手に冬のお散歩をしてみてくださいね/水野



人形は地域の方から寄贈されたもの



古き良き日本の伝統

古民家岸邸の ひな 雛まつり



3月3日のひな祭りに合わせて、歴史ある古民家に人形を飾ります。日本の伝統と春の訪れを感じてみませんか。

《日時》2月15日～3月12日 10～15時 (月・火曜は休館)

《場所》古民家岸邸


《内容》市内の各家庭に飾られていた約25点のひな人形を展示。2月25日・3月4日、10～14時は「民話のおはなし会」や「昔あそび」などを開催

《費用》無料



詳細はこちら



 当日直接会場へ。

 あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

新型コロナウイルス ワクチン関連情報

接種期間は3月31日までです。希望する方は早めに接種をお願いします。

※情報は1月18日時点



オミクロン株対応ワクチン接種

12歳以上で初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方に集団・個別接種を実施しています。

■集団接種

- 《接種時間》 2月以降=金曜12～19時、土曜9～16時 (いずれも18日を除く。3月の金曜は17・24日のみ)
- 《ワクチン》 第1土曜はモデルナ社製、その他ファイザー社製
- 《接種場所》 老人福祉センター寿荘
- 《予約方法》 電話または市HPから予約



予約サイト

■個別接種

- 《ワクチン》 ファイザー社製
- 《接種場所》 市内63医療機関



詳細はこちら

6カ月～4歳の接種(3回1セット)

接種日より、3回目まで接種できない場合があります。

- 《ワクチン》 乳幼児用ファイザー社製
- 《接種間隔》 2回目…1回目接種から3週間後
3回目…2回目接種から8週間後
- 《接種場所》 市内13医療機関



6カ月～4歳
ワクチン

5～11歳の接種

- 《ワクチン》 小児用ファイザー社製
- 《接種間隔》 2回目…1回目接種から3週間後
3回目…2回目接種から5カ月後
- 《接種場所》 市内16医療機関



5～11歳
ワクチン

 市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

※自然歳時記は4・5面に掲載。

厚木市の人口
(1月1日現在)

 世帯数 10万3527世帯 (前月比9世帯増)

 人口 22万3956人 (前月比80人減) 男11万5250人・女10万8706人